

がん対策の強化急げ

県、市議らが街頭で署名活動

第3福岡支部
党三

がん対策の強化急げ
。公明党福岡第三
支部連合会は12日、福
岡市早良区と前原市内
を行った。

このうち、早良区の
街頭署名には、新開昌
彦県議、久保浩、黒子
秀勇樹の両市議が参

加。マイクを握った新
開氏は、「日本では今
3人に1人が、がんで
亡くなっている」と指
摘し、党員らとともに
道行く市民に署名への
協力と呼び掛けた。

同署名は、がんの早
期発見・早期治療を促
し、国民の生命を守
ることが目的。①公費
負担増で、がん検診の
受診率向上②前立腺疾
患を検出する血液検査
の導入・普及③子宮頸
がん予防ワクチンの早
期承認・普及——など
6項目の実現を求めて
いる。

また、前原市のJR
前原駅前でも笹栗純
夫、黒田公二の両市議
が党員と一緒に、がん
検診の重要性を訴え
た。



がん署名への協力と呼び掛ける新開県議
(右端)、久保市議(右から3人目)ら



がん検診の重要性を訴える笹栗(左端)、
黒田(右から2人目)の両市議ら